

初年次ガイダンスのコンテンツ

学術情報リテラシー担当者研修
6班

1. 問題意識

▶ 初年次において

学士課程教育充実のため
情報の探し方、資料の使い分けを
身につけてほしい。



<初年次ガイダンスの改善>

<目標>

- ▶ 情報の探し方・資料の使い分けを初年次に習得させる



<提案>

- ▶ 「コンテンツの自動化」を有効活用する
 - ▶ 説明のポイントを絞り込む
-



2. 現状

- ▶ ガイダンスの説明内容を詰め込みすぎ
 - ・データベースの使い方に特化

<理由>

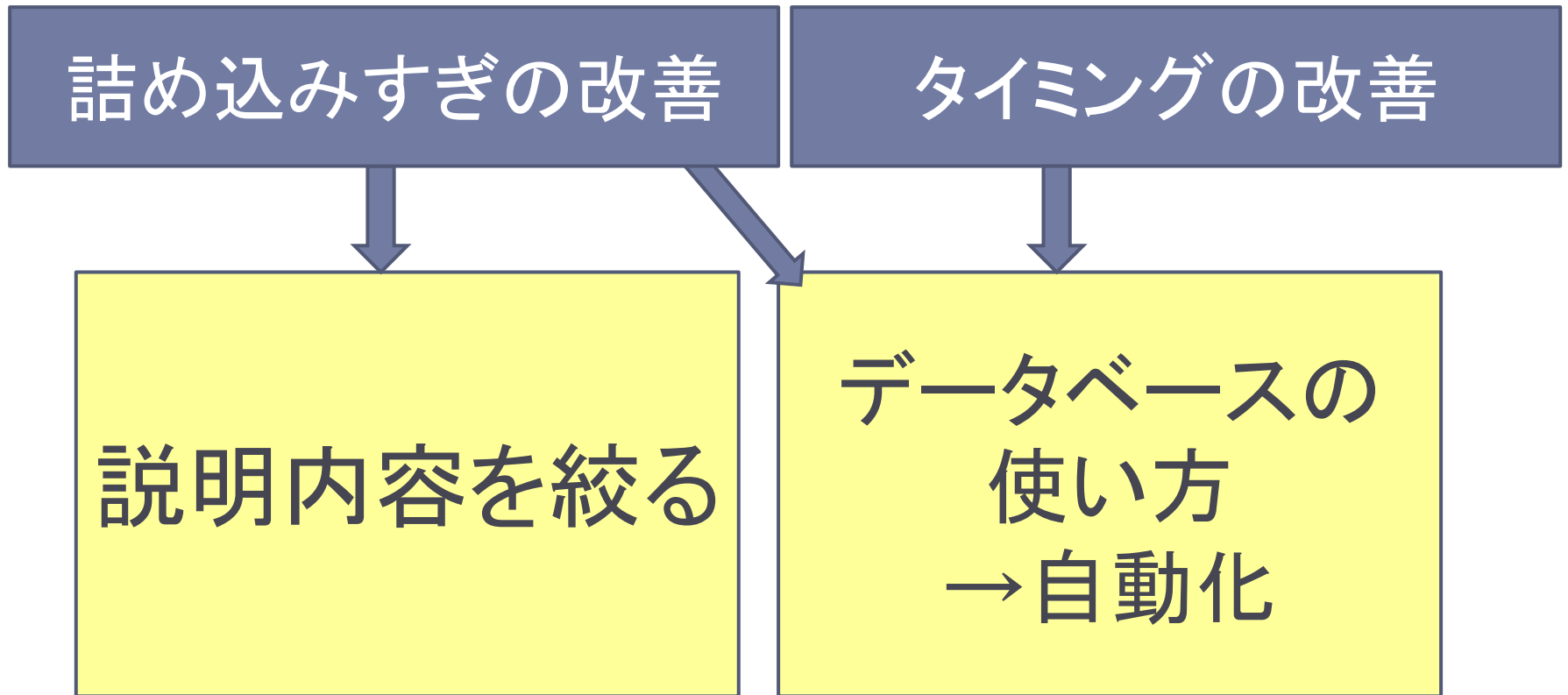
実施回数が増やせない



- ▶ 情報を必要とするタイミングと合わない
 - ▶ 学生の記憶に残らない
-



3. 解決法



自動化: オンデマンドのe-Learning教材化



4. 自動化のメリット

図書館員のメリット

- ▶ 業務の省力化
- ▶ 担当者の説明のゆれ防止

データを共有できないか！？

学生のメリット

- ▶ 必要な時にいつでも見られる
- ▶ ホームページ公開



5. 自動化のために

▶ リテラシーバンク(仮)

データベースの使い方についての説明、
説明の流れなど

図書館員同士で共有する

図書館独自のコンテンツ作成のための素材



まとめ

初年次ガイダンスにおいて

学生が情報を探す必要に
自分で気づくためのガイダンスは
図書館員が行う。

